

特集「ユビキタスコンピューティングシステム (VIII)」の編集にあたって

大村 廉^{1,a)}

1988年にマーク・ワイザーによってユビキタスコンピューティングの概念が提唱されて以降、約30年が経過しました。この間、情報処理技術の発展にともない様々な機器にコンピュータが組み込まれ、また、ネットワークに接続されて人々の生活の支援を行うようになってきています。現在はIoT (Internet of Things, モノのインターネット) という言葉がよく聞かれるようになりましたが、ユビキタスコンピューティングはIoTを包括し、なお、それを利用して、いかに人が意識せず人にとって有益なサービスを実現するか、ということを取り扱う研究分野となっています。そのため、取り扱う分野は非常に幅広く、センサデバイス、信号処理、ミドルウェア、ネットワークング、データマイニング、ヒューマンインタフェースやAIなどの工学分野から、さらには社会学や心理学などにも踏み込み、学際的に研究活動を行う分野となっています。

本特集号はこのような研究の推進を目的として、ユビキタスコンピューティングシステム (UBI) 研究会が企画しているもので、今回で第8回目となりました。UBI研究会の主査、幹事、運営委員を中心に構成した編集委員会での慎重な審議の結果、投稿数25件に対して、10件の論文が採択されました (採択率40%)。目標とする採択率には届きませんでしたが、非常に優れた論文を採択できたものと考えております。

採択された論文のテーマは、水位を計測するための新たなセンサデバイスや、音響を用いた物体識別手法、センサデータの通信方式、映像の匿名化などの要素技術に関するものから、デジタルテーブル、クッションインタフェースなどのユーザインタフェース技術、ソーシャルメディアや都市における交通の問題を取り扱った技術など、ユビキタスコンピューティングの実現に向けて取り組まれている広範な研究から、質の高い研究論文を多く採択することができました。このような幅広い分野から、それぞれ高品質な論文を集めることができ、その意義は非常に高いと考えています。今後も、本特集号を毎年継続していく予定ですので、投稿をぜひご検討ください。

最後に、本特集号の機会を与えてくださった論文誌編集委員会の皆様、多忙にもかかわらず丁寧に査読していただいた査読者の方々、編集にご協力戴いた特集号幹事・編集委員の皆様に感謝申し上げます。特に、特集号編集委員の皆様には、著者と査読者の間に入り、論文の採択に向けて多大なご助力をいただきました。その結果、高品質な論文を数多く採択することができました。心より御礼を申し上げます。また、何にもまして、ご投稿いただいた著者の皆様に深く感謝いたします。今回は残念ながら採択に至らなかったご研究についても、そのような積み重ねがあつてこそ、本文野が発展していくものと思います。本特集号が本分野のさらなる発展に向けた一助となれば幸いです。

「ユビキタスコンピューティングシステム (VIII)」特集号編集委員会

- 編集委員長
大村 廉 (豊橋技術科学大学)
- 幹事
岸野泰恵 (日本電信電話), 村尾和哉 (立命館大学)
- 編集委員
寺田 努 (神戸大学), 井上創造 (九州工業大学), 米澤拓郎 (名古屋大学), 新井イスミル (奈良先端科学技術大学院大学), 石黒祥生 (名古屋大学), 磯山直也 (奈良先端科学技術大学院大学), 大内一成 (東芝), 小川泰嗣 (リコー), 門村亜珠沙 (パナソニック), 孔 全 (日立製作所), 下坂正倫 (東京工業大学), 菅谷みどり (芝浦工業大学), 角 康之 (公立はこだて未来大学), 高木 雅 (日本電信電話), 高橋秀幸 (東北大学), 土井裕介 (Preferred Networks), 中澤 仁 (慶應義塾大学), 中村嘉隆 (公立はこだて未来大学), 野間春生 (立命館大学), 樋口啓太 (東京大学), 廣井 慧 (名古屋大学), 藤波香織 (東京農工大学), 前川卓也 (大阪大学), 水本旭洋 (大阪大学), 宮田章裕 (日本大学), 安本慶一 (奈良先端科学技術大学院大学), 柳沢 豊 (m plus plus), 渡邊拓貴 (北海道大学), 真鍋宏幸 (芝浦工業大学), 内山 彰 (大阪大学)

¹ 豊橋技術科学大学情報・知能工学系
Toyohashi University of Technology, Toyohashi, Aichi 441-8580, Japan

^{a)} ren@tut.jp